

# 2011年3月期 第2四半期 決算説明会

2010年11月11日  
JUKI株式会社  
取締役社長 清原 晃

*Mind & Technology*

**JUKI**  
*Mind & Technology*

# 目次

## 第1部 11/3期(10年度)上期業績

- 1. 上期業績のポイント 3
- 2. 業績推移 4
- 3. 主要財務項目推移 6
- 4. キャッシュフロー推移 7

## 第2部 セグメント別業績

- 1. セグメント別業績推移 9
- 2. 工業用マシン事業 11
- 3. 産業装置事業 13
- 4. 家庭用マシン事業 15

## 第3部 11/3期(10年度)下期に実施する 主な施策・新商品

- 1. 通期業績予想 17
- 2. 下期に実施する主な施策・新商品
  - (1) 全社施策 18
  - (2) 工業用マシン事業 20
  - (3) 産業装置事業 22
  - (4) 家庭用マシン事業 24

# 第1部

## 11/3期(10年度)上期業績

## 売上高は前年同期比78%増加。営業・経常・当期純利益とも黒字転換

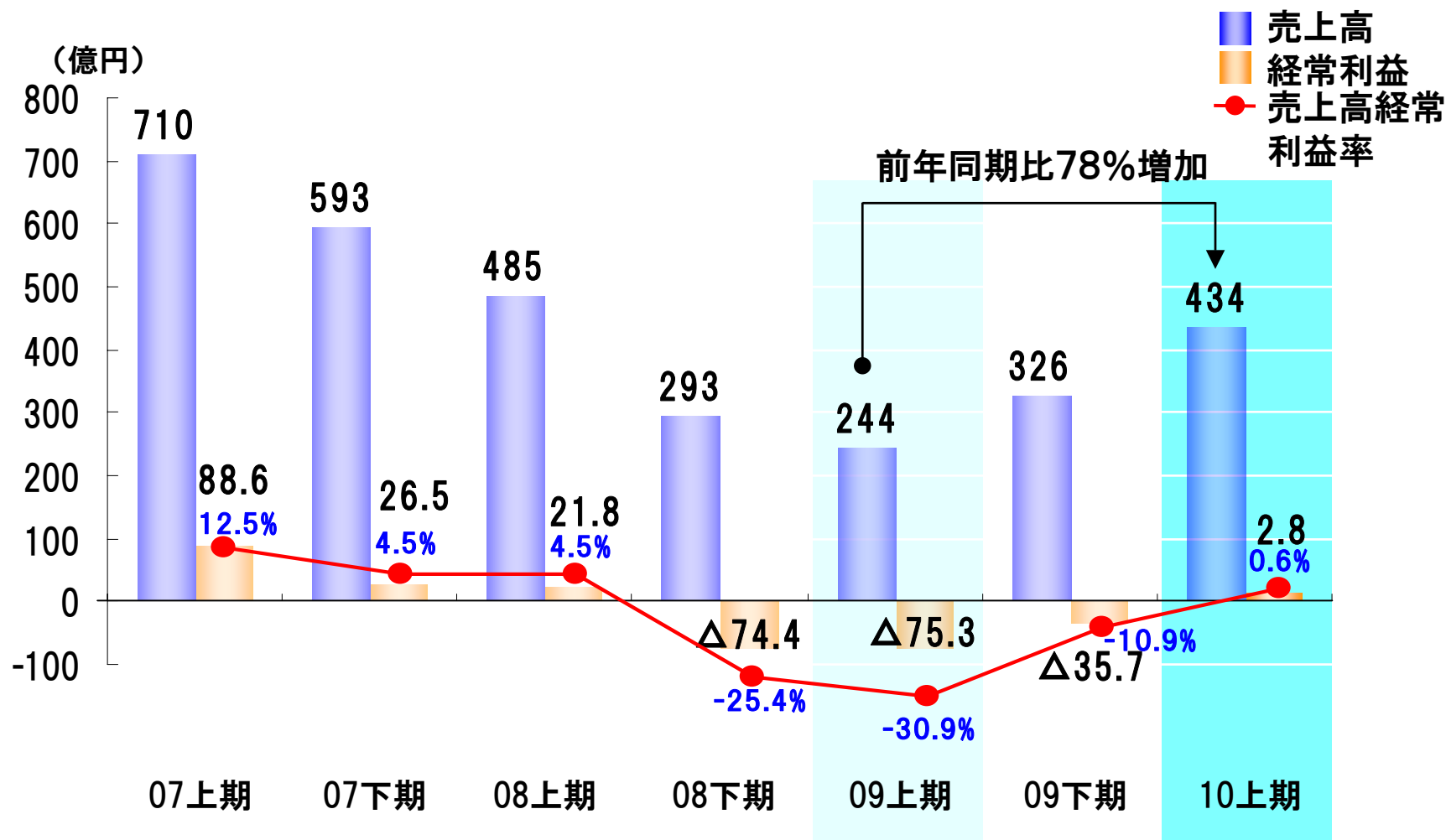
1. 売上高は434億円(前年同期比190億円の増加)
2. 営業利益は1.5億円(前年同期比76.1億円の増加)  
経常利益は2.8億円(前年同期比78.1億円の増加)
3. 当期純利益は6.4億円(前年同期比81.3億円の増加)
  - ・特別利益20億円(国領旧本社売却益18億円等)
  - ・特別損失6億円(投資有価証券評価損3億円等)
  - ・税金10億円等
4. 中間配当は実施せず

(百万円)

	08上期	08下期	09上期 (A)	09下期	10上期 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A/A)
売上高	48,531	29,301	24,353	32,617	43,363	19,010	78.1%
営業利益	1,881	△6,856	△7,454	△3,733	151	7,605	—
経常利益	2,183	△7,442	△7,534	△3,568	278	7,812	—
当期純利益	△518	△8,829	△7,494	△3,739	640	8,134	—
配当	5円/株	0円/株	0円/株	0円/株	0円/株	±0円/株	—
※為替 レート	ドル 105円 ユーロ 161円	94円 123円	94円 132円	89円 127円	87円 112円	△7円 △20円	

※為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

## 4期ぶりに黒字転換



在庫は需要増に対応し積み増したため、47億円増加。有利子負債は営業CFのプラスと国領旧日本社売却により31億円減少

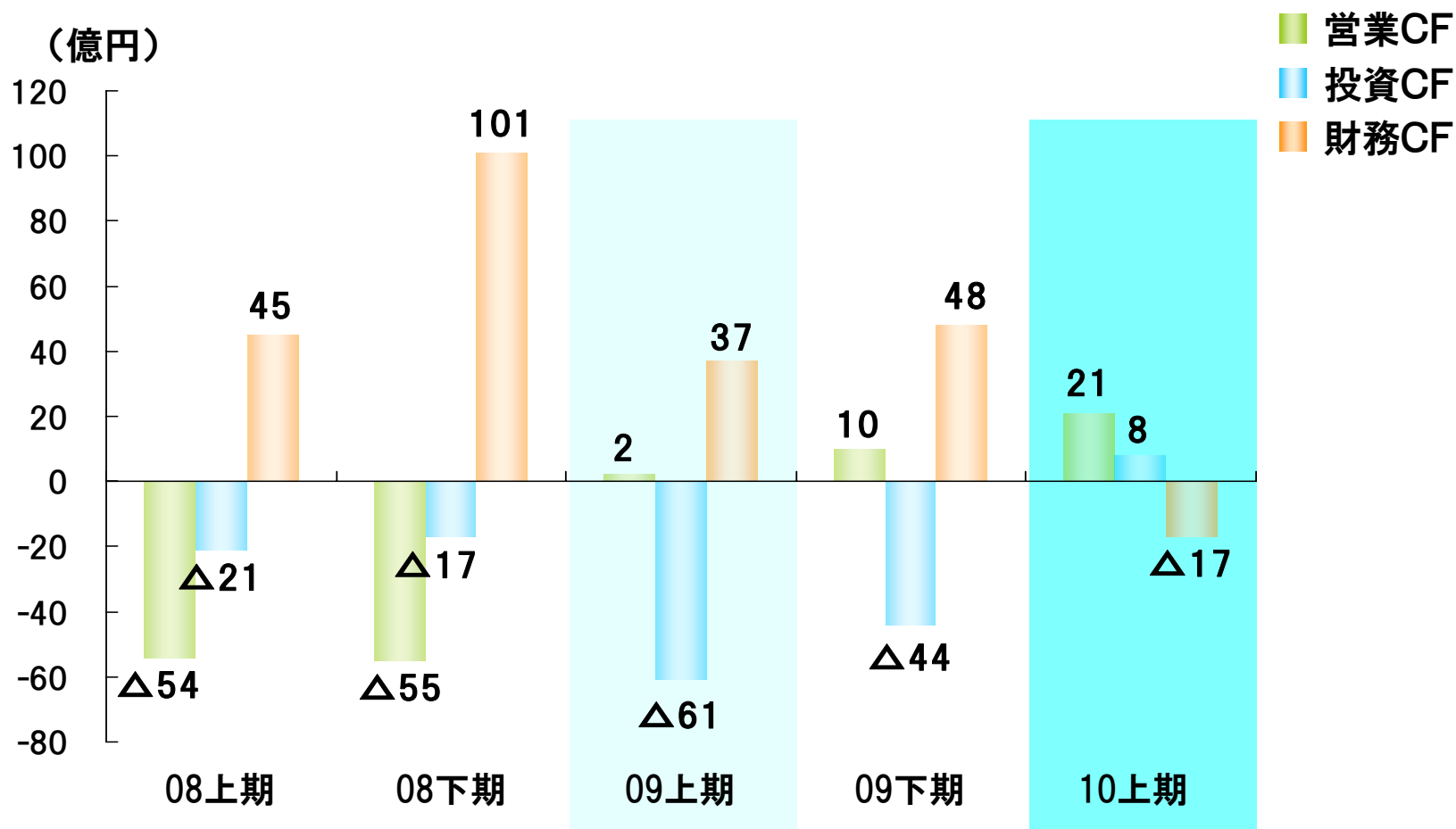
(百万円)

	08上期	08下期	09上期	09下期 (A)	10上期 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A/A)
総資産	112,407	103,654	94,874	101,081	106,230	5,149	5.1%
在庫	42,885	36,070	31,156	29,297	33,947	4,650	15.9%
有利子負債	46,191	56,001	60,790	65,848	62,752	△3,096	△4.7%
純資産	34,889	21,589	15,006	10,686	10,530	※△156	△1.5%
(自己資本 比率)	(30.7%)	(20.6%)	(15.5%)	(10.3%)	(9.7%)	△0.6%	—

※ 純資産の減少額△1.5億円の内訳

〔利益6.4億円  
為替換算調整勘定△7.9億円〕

営業CFは前年同期比増加。投資CF・財務CFは新本社建設が終了し改善





# 第2部

## セグメント別業績

工業用マシンは前年同期比68%増加。産業装置は前年同期比211%増加

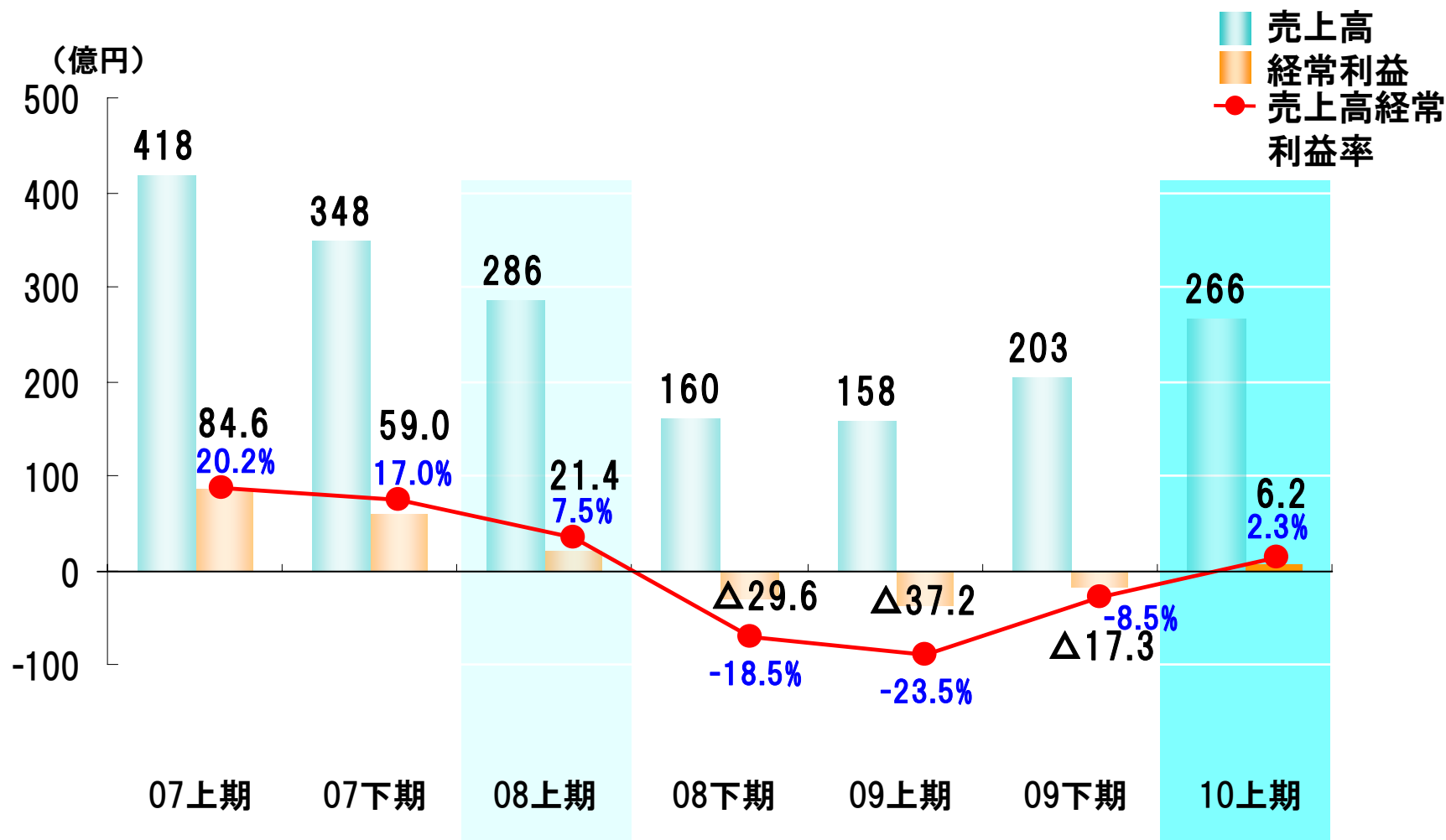
(百万円)

	08上期	08下期	09上期 (A)	09下期	10上期 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A/A)
工業用マシン	28,568	16,016	15,839	20,253	26,604	10,765	68.0%
産業装置	12,590	7,370	3,844	8,196	11,969	8,125	211.4%
家庭用マシン	1,297	1,059	1,166	1,258	1,551	385	33.0%
その他	6,075	4,855	3,503	2,910	3,238	△265	△7.6%
売上高合計	48,531	29,301	24,353	32,617	43,363	19,010	78.1%

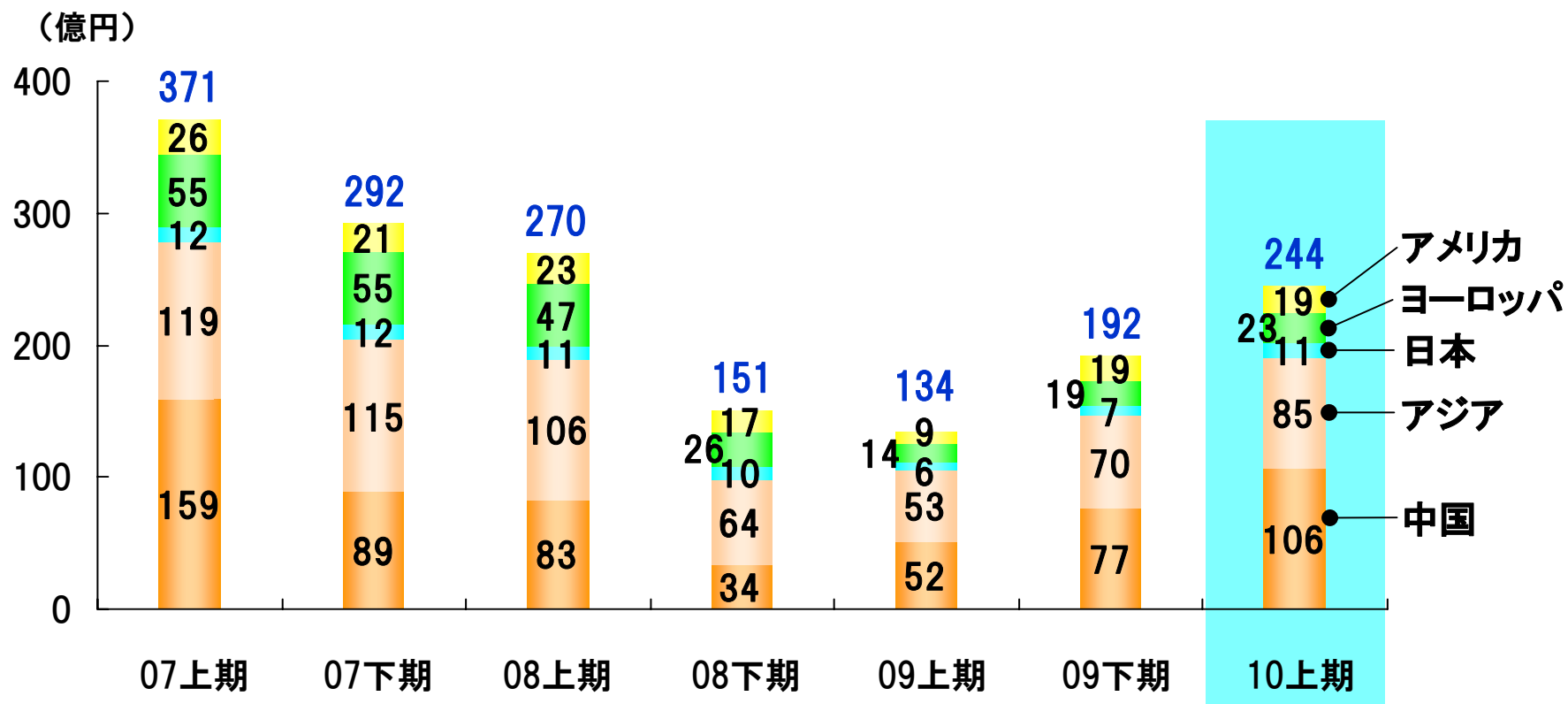
## 全部門で黒字化を達成

	08上期	08下期	09上期 (A)	09下期	10上期 (B)	(百万円) 増減額 (B-A)
工業用マシン	2,140	△2,956	△3,723	△1,730	617	4,340
産業装置	564	△3,100	△2,346	△1,157	442	2,788
家庭用マシン	△1,036	△454	△237	△32	27	264
その他	397	△93	△117	104	289	406
調整額	118	△838	△1,109	△754	△1,098	11
経常利益 合計	2,183	△7,442	△7,534	△3,568	278	7,812

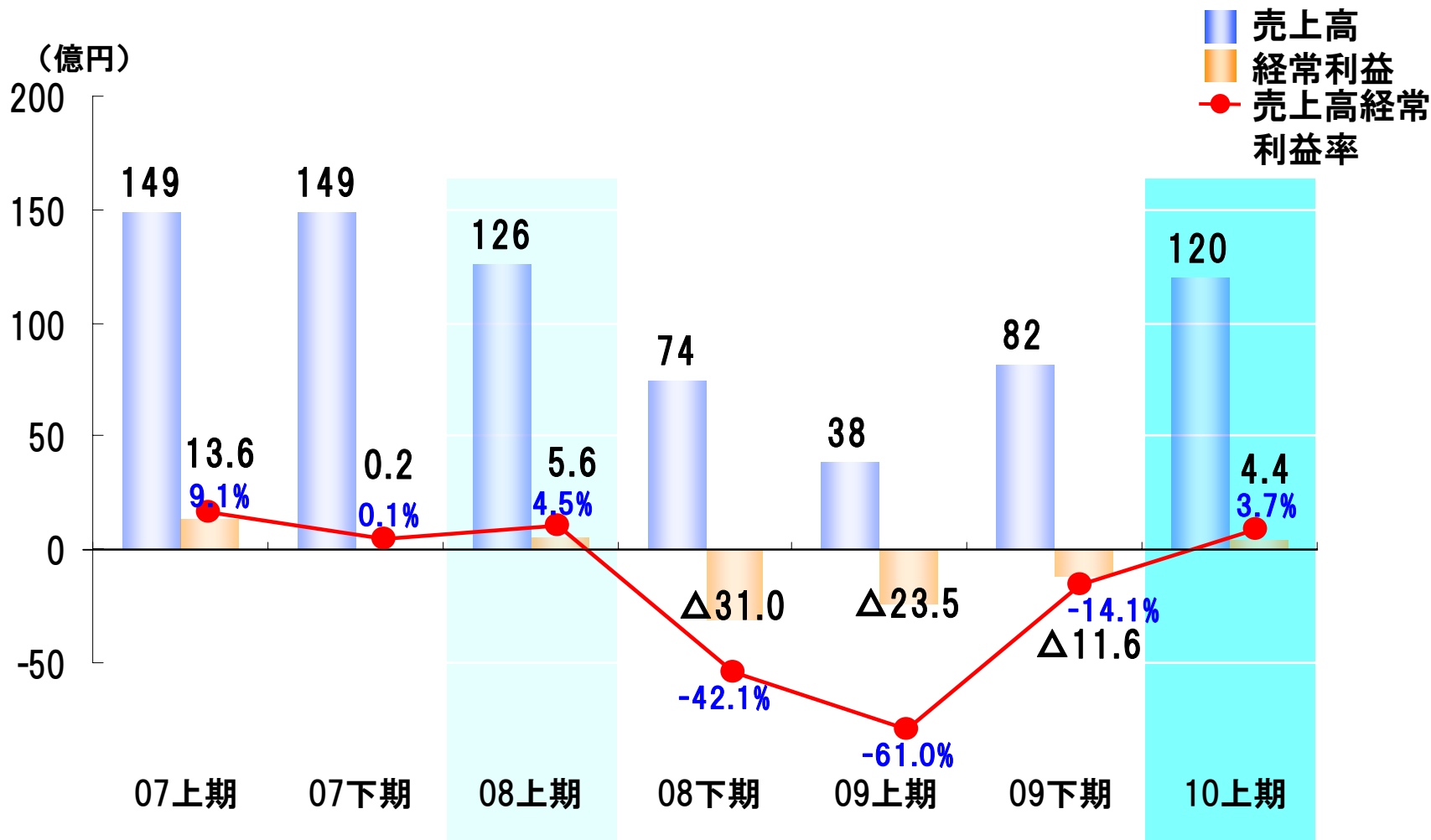
## 売上高は08上期の水準までほぼ回復。黒字に転換



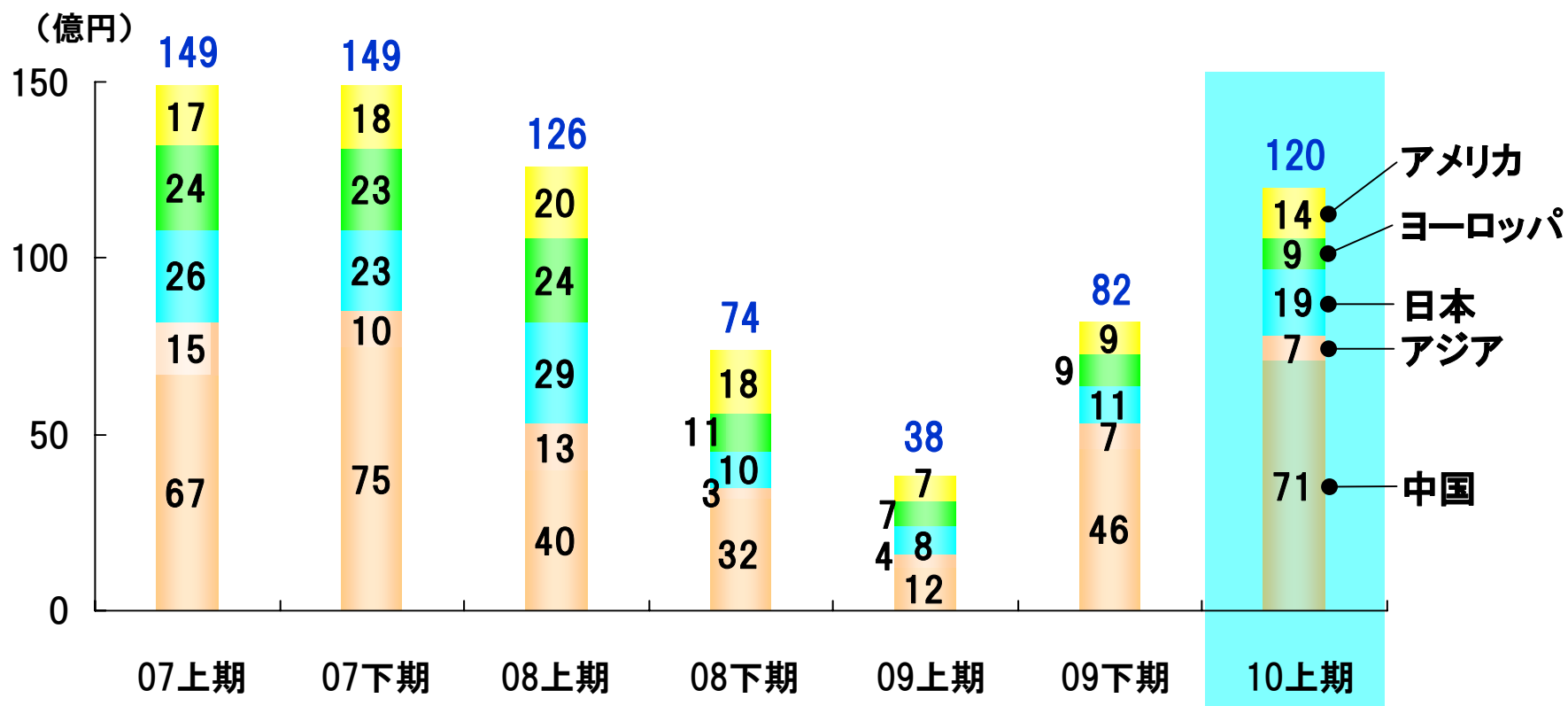
## 中国は前年同期比倍増となり、ピーク(07上期)の3分の2の水準まで回復



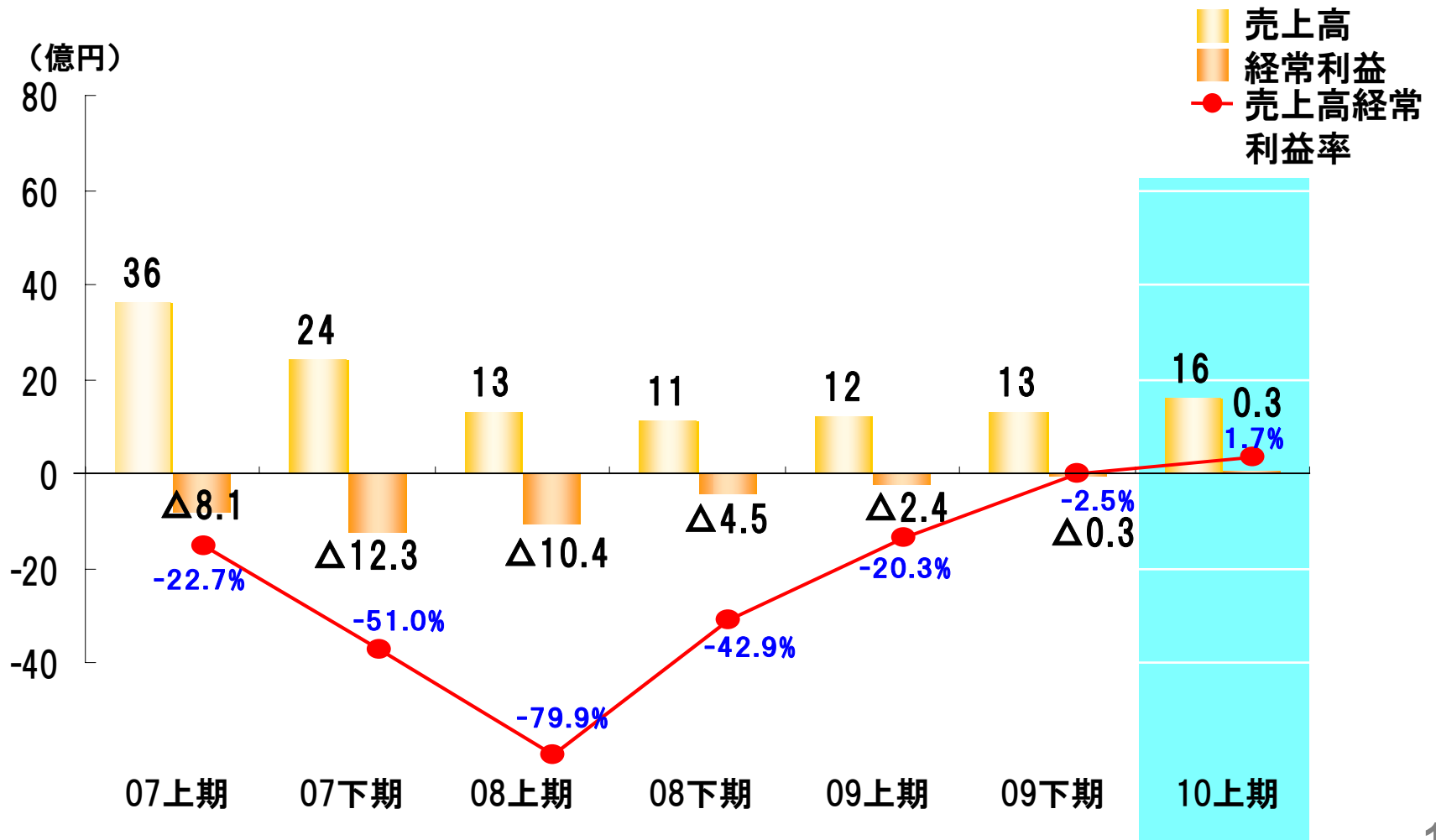
## 売上高は08上期の水準まで回復。黒字に転換



## 中国は前年同期比6倍になり、ピーク(07下期)の水準まで回復



## 事業改革を経て、黒字化を達成





## 第3部

# 11/3期(10年度)下期に実施する 主な施策・新商品

為替や景気動向など不透明であり、当初予想を据え置き

	(百万円)	[参考] (百万円)
	10年度当初予想 (5/14)	09年度実績
売上高	83,500	56,970
営業利益	1,500	△11,187
経常利益	900	△11,102
当期純利益	500	△11,233

「グローバルなものづくり企業として、21世紀を生き抜く強い企業」を目指して

● 下期の環境認識

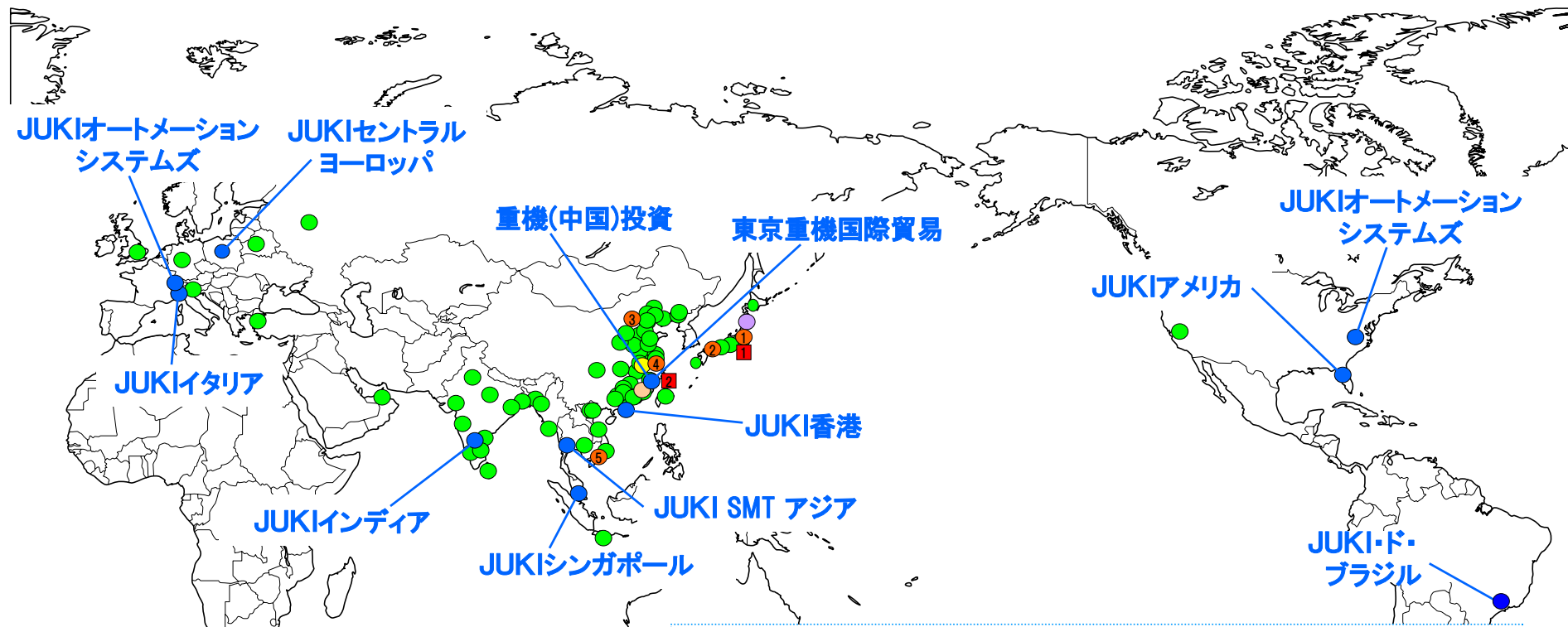
1. 急激な円高への対応
2. 中国・韓国・台湾のライバル企業との競争が一段と激化

● 全社施策

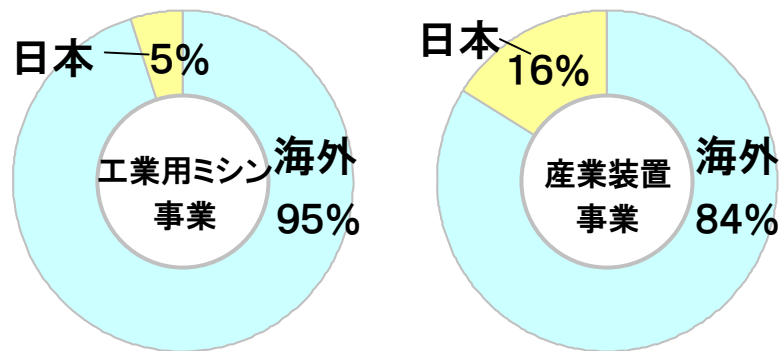
1. グローバル企業として更に経営体制を強化
  - (1) 管理業務の共通化、グローバル化
  - (2) 本社機能の一部を海外展開
  - (3) 生産体制の更なるグローバル化
  - (4) 販売拠点・物流ネットワークの見直し
2. 「価格と品質のバランス」をベースにした品質保証戦略を徹底
  - ・市場、お客様のニーズに合った商品の投入とコストダウンの徹底
3. 自前主義を脱し、開発、生産、販売等幅広くアライアンスを活用

(参考)

# JUKIのグローバルネットワーク



## 10年度上期売上高



### 販売拠点

・本社機能: JUKI本社 ■、重機(中国)投資 ■

- ・販売会社 ●
- ・主要販売・サービス拠点 ●
- ・工業用マシンの組立工場

### 生産拠点

- 国内: 大田原工場 ①、JUKI松江 ②
- 海外: 新興重機 ③、上海工業 ④、JUKIベトナム ⑤
- ・マウンタの組立工場: JUKI電子工業 ●
- ・フィーダの生産工場: JUKI電子工業 ●、上海工業 ●
- ・部品の生産調達: 大田原工場 ①、寧波精密 ●

## 10年度下期の主な施策

## ●工業用マシン事業の主な施策

## 1. 販売

## (1)新商品

- ①新興国内需市場：戦略機種「DDL-8100e」、ニット機器を投入
- ②輸出縫製市場：ハイエンド・ミドルクラスの商品を8機種投入

## (2)拡販対策

- ①新興国内需市場：市場開拓室を新設
- ②ニット機器：ニット機器部を中心とした販売体制の強化
- ③パーツ：パーツ部を新設し、更なる販売強化

## 2. 製造

## (1)生産能力の拡大

- ①中国工場：設備能力の増強
- ②ベトナム：第4工場稼動開始

## (2)コストダウンを更に加速

- ①部品調達の海外展開加速
- ②国内生産機種の更なる海外移管
  - ・ハイエンド機の中国生産移管を開始
  - (本縫系、ニット系機種の海外移管は上期までに完了)

**DDL-8100e**  
1本針本縫ミシン

新興国内需市場向け

新興国内需市場向け  
の本縫用戦略機種



【新興国内需市場向け】

- 高速オーバーロックミシンを下期に市場投入
- 糸切りミシンを早期に市場投入

**AC-172N-1790**  
高速電子ボタン穴かがりインデキサー

主に輸出縫製市場向け

ワイシャツなどのボタン穴かがりの生産性が大幅に向上するミシン



**MO-6700D**  
セミドライ高速オーバーロック/インター  
ロックミシン

主に輸出縫製市場向け

縫製品の油汚れを解消し、高速化を実現したセミドライヘッドロックミシン



## ●産業装置事業の主な施策

### 1. 販売

#### (1)新商品

- ・高速機市場：高速汎用マウンタKE-3020/3020Rを投入  
⇒FX-3との連結による、高速電動生産ラインの提案営業強化

#### (2)拡販対策

- ①高速機市場でのシェアアップ
  - ・大手顧客の開拓と新商品投入による販売拡大
- ②新興国市場の販売強化
  - ・南米、インド、韓国等での販売強化
  - ・LED対応マウンタ JX-100(LED)の販売拡大
- ③サービスビジネス(保守・部品売上)の強化
- ④付加価値商品(プレースメントモニタ)の販売拡大

### 2. 製造

- ・中国拠点(上海工業)でのフィーダ生産拡大

## 高速汎用マウンタ「KE-3020/3020R」

### 新商品



高速モジュラーマウンタ「FX-3」と連結することで、高速電動生産ラインを構築する高速汎用マウンタ  
 《特徴》

- ・電動式、メカ式テープフィーダの併用が可能
- ・0.4ミリ×0.2ミリの極小チップ部品から50ミリ×150ミリの大型部品まで搭載可能
- ・部品搭載速度は20,900CPH(最適条件時)

## LED対応マウンタ「JX-100(LED)」

### 新興国市場開拓商品



LED基板などの長尺基板に対応した、新興国市場開拓向け戦略機

《特徴》

- ・800ミリの長尺基板に対応
- ・0.6ミリ×0.3ミリのチップ部品から33.5ミリ角の部品まで搭載可能
- ・部品搭載速度は19,300CPH(最適条件時)



## ● 家庭用ミシン事業の主な施策

### 1. 販売

(1) 商品：商品レンジの拡大に着手

#### (2) 拡販対策

##### ① 海外販売ネットワークの拡充

###### (i) アメリカでの販売拡大

- ・展示会を活用した大手ディーラーへの販路拡大
- ・テレビショッピングの活用

###### (ii) 工業用ミシン事業の販売ネットワークを活用

##### ② 国内特約店網の拡充

##### ③ Exceedシリーズの販売拡大

### 2. 製造

(1) 中国工場の効率化推進

(2) 中国・台湾での部品調達拡大によるコストダウン徹底

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。  
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

## JUKI株式会社

お問合せ先： 経営企画部 担当：寒川<sup>そう がわ</sup>

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>